



クローズアップ  
CLOSE UP

銀輪市内を駆け抜ける

9月24日にまえばしクリテリウムを、25日にまえばし赤城山ヒルクライムを開催しました。初開催のクリテリウムは市街地の周回コースを走る自転車レース。7カテゴリーに地元のプロチーム・群馬グリフィンを含む343人が参加し、走りを競い合いました。



市民が作る祭典始まる

9月22日に前橋45DAYSのオープニングイベントを開催しました。初日はさまざまな色に変化するちょうちんを持って、ちょうちん行列を実施。青やピンク、緑に変化するちょうちんに歓声が上がりました。45日間で行われる45個のイベントに注目してください。



音楽とビールで祭典

ドイツ発祥のビールの祭典「前橋オクトーバーフェスト」を9月30日から3日間、中央イベント広場で開催。フェスを盛り上げたのは、ヨーデル歌手の北川桜さんとドイツ出身者からなるバンド「独メン」の音楽。45DAYSの夜に、陽気なメロディーが響きました。

いきいき  
まえばし人

北原雄一郎さん・64歳  
ちんどん競演会事務局長  
本町二丁目

ちんどんとおして笑顔届ける



前橋45DAYSの一つ、全図アマチュアちんどん競演会in前橋の事務局長を務める。ちんどんとの出会いは14年前。馬場川通りにあった「てんもと亭」で、ちんどん大学を開いたのがきっかけだ。

「以前市内には音楽を奏でながら宣伝をする2つのプロのちんどんがありました。その一つ、アタリヤ演芸宣伝社の親方に教えを求めたんです」

当初は裏方に徹するつもりだったが、楽器を触ってみると、たちまちとりこに。以降、演奏などを行うほか、今は主に口上として活躍している。

本市とちんどんの関わりは深く、前橋市史や昭和25年の新

間に、商工祭（前橋まつりの前身）で「北関東チンドンヤ大会」が開催されたとの記載がある。

「日本で最初のちんどん大会は、昭和26年に行われた東京の新橋での大会といわれていますが、前橋の方が一年早かったことになりました」

普段は厩橋（うまばし）CHINDON倶楽部の理事長としても活動。施設の慰問などもしている。

「慰問先の方が笑顔になると、うれしくなります。元気を届けるつもりが、逆に元気をもらっていますね」

今年の競演会には高校生も参加予定。北原さんの仕掛けたちんどんの輪は、世代を超えてさらに広がることだろう。

前橋ブック  
ストリート  
MAEBASHI BOOK STREET



松平家記録の研究で  
図書館はより身近に



松平家記録解読・監修  
駒形 義夫さん

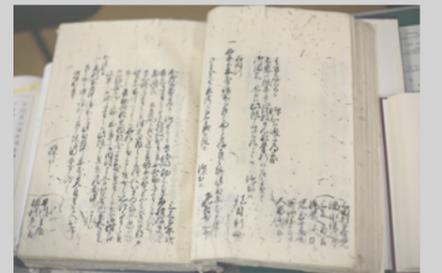
今年で開館100周年を迎えた前橋市立図書館の今をお伝えします。

Vol.04



19歳の大学生の時から松平家記録や市立図書館に関わりはじめて、現在71歳ですから、100周年の半分以上に関わっていることになりましたね。

図書館が郷土資料研究に取り組むのは、市民に身近なものになるためなんだと思います。



松平家記録の一部

松平家の記録は元禄から明治まで、180年近くの間を記録したものです。冊数も404冊に及びます。松平家の記録と合わせて町人の記録も読み解くと、当時の真実が見えてきます。それらの土台の上には、いまの私たちの生活がある。だから記録を解読し、活字化して誰にでも触れられるようにすることは大切なんです。

全国的にはそもそもこのような資料が戦禍をくぐり抜けて残っているところが少ないし、解読している図書館はさらに少ない。せっかくの資料ですからそれを生かして、より身近な図書館をつくることが必要なんだと思います。

次回のコラムは読み聞かせグループ連絡協議会会長の田子智代さんをお願いします。